

◆浜田市議会・議員の活動内容及び実績

1. 会議等の開催日数

分類	会議等の名称	平成30年度	令和4年度	令和5年度 (上期)
本会議	定例会議	29	28	14
	臨時会議	0	4	1
	小 計	29	32	15
常任委員会	総務文教委員会	12	22	10
	福祉環境委員会	12	16	10
	産業建設委員会	13	20	6
	予算決算委員会	12	16	10
	議会広報広聴委員会	12	16	6
	小 計	61	90	42
特別委員会	議会改革推進特別委員会 (H30は議会改革調査検討特別委員会)	10	14	6
	自治区制度等行財政改革推進特別委員会 (R3まで設置)	11		
	中山間地域振興特別委員会 (R3まで設置)	10		
	協働のまちづくり推進特別委員会 (R3から設置)		9	6
	小 計	31	23	12
その他の会議	議会運営委員会	17	22	9
	全員協議会	14	14	7
	小 計	31	36	16
研修・視察等	研修会	4	4	3
	視察	25	15	5
	意見交換会	0	44	11
	議会報告会(地域井戸端会)	16	0	26
	はまだ市民一日議会(R3から開催)		1	10月開催
	小 計	45	64	45
合 計		197	245	130

※コロナ前の平成30年度と、令和4年度、令和5年度上期(4~9月)を比較

※同じ日に開催された会議等は別々にカウント

2. 県内8市における一般質問の通告者の比率

市名		令和2年度					令和3年度					令和4年度					
		6月	9月	12月	3月	平均	6月	9月	12月	3月	平均	6月	9月	12月	3月	平均	
浜田市	定数	24	24	24	24	87.5%	24	24	22	22	92.5%	22	22	22	22	94.3%	
	通告者数	15	23	23	23		23	20	21	21		21	21	21	20		21
	比率(%)	62.5%	95.8%	95.8%	95.8%		95.8%	83.3%	95.4%	95.4%		95.4%	95.4%	95.4%	90.9%		95.4%
松江市	定数	34	34	34	34	45.6%	34	34	34	34	65.4%	34	34	34	34	58.1%	
	通告者数	6	20	18	18		21	21	24	23		20	17	21	21		
	比率(%)	17.6%	58.8%	52.9%	52.9%		61.7%	61.7%	70.5%	67.6%		58.8%	50.0%	61.7%	61.7%		
出雲市	定数	32	32	32	32	58.6%	30	30	30	30	72.5%	30	30	30	30	71.6%	
	通告者数	17	20	21	17		20	23	24	20		23	23	22	18		
	比率(%)	53.1%	62.5%	65.6%	53.1%		66.6%	76.6%	80.0%	66.6%		76.6%	76.6%	73.3%	60.0%		
益田市	定数	22	22	22	22	64.7%	22	22	22	22	68.1%	22	22	22	22	60.2%	
	通告者数	12	15	14	16		15	14	14	17		13	12	14	14		
	比率(%)	54.5%	68.1%	63.6%	72.7%		68.1%	63.6%	63.6%	77.2%		59.0%	54.5%	63.6%	63.6%		
大田市	定数	20	20	20	20	55.0%	20	20	20	20	45.0%	18	18	18	18	61.1%	
	通告者数	11	11	11	11		9	10	10	7		11	8	13	12		
	比率(%)	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%		45.0%	50.0%	50.0%	35.0%		61.1%	44.4%	72.2%	66.6%		
安来市	定数	21	21	21	21	48.8%	21	21	18	18	73.6%	18	18	18	18	79.1%	
	通告者数	7	8	12	14		14	14	15	14		13	14	15	15		
	比率(%)	33.3%	38.0%	57.1%	66.6%		66.6%	66.6%	83.3%	77.7%		72.2%	77.7%	83.3%	83.3%		
江津市	定数	16	16	16	16	54.7%	16	16	16	16	59.4%	16	16	16	16	62.5%	
	通告者数	5	8	11	11		9	9	10	10		8	12	10	10		
	比率(%)	31.2%	50.0%	68.7%	68.7%		56.2%	56.2%	62.5%	62.5%		50.0%	75.0%	62.5%	62.5%		
雲南市	定数	22	22	19	19	75.1%	19	19	19	19	90.7%	19	19	19	19	85.5%	
	通告者数	11	18	16	16		18	17	17	17		17	18	15	15		
	比率(%)	50.0%	81.8%	84.2%	84.2%		94.7%	89.4%	89.4%	89.4%		89.4%	94.7%	78.9%	78.9%		

3. 議会改革度調査にかかる全地方議会における浜田市議会の位置づけ

早稲田大学マニフェスト研究所が、議会改革の取組状況や傾向を把握することを目的として、全地方議会（都道府県議会及び市区町村議会）を対象に、毎年「議会改革度調査」を実施。（13回目）

【調査目的】

- ①取組を数値化することにより、各議会が取組向上を図る際の客観的指標を示す
- ②上位ランキングの公表により、地方議会に善政競争を促し、二元代表制の一翼を担う議会を強化
- ③議会改革の方向性を定め、次なる課題ステージを提示

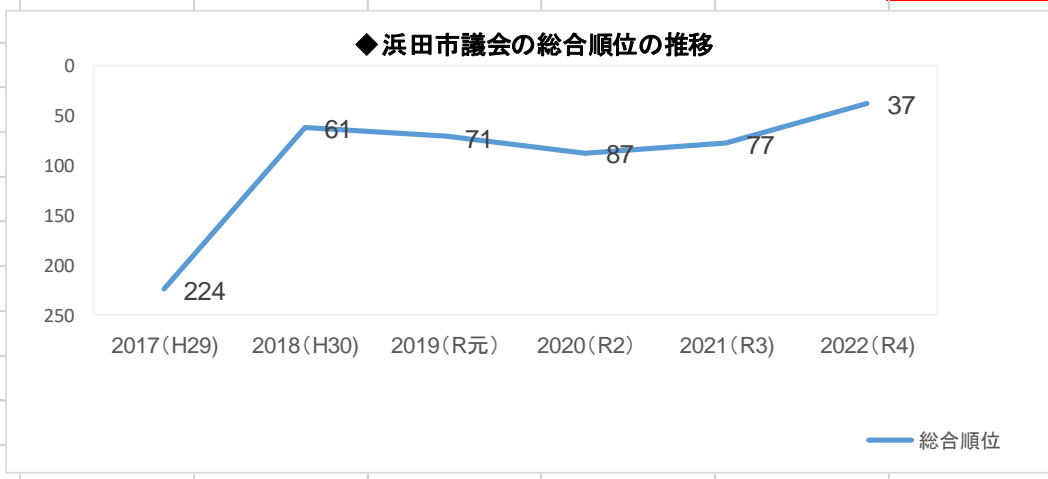
【調査概要】

- ・2022年調査では、都道府県議会と市区町村議会の全1,788議会中、1,416議会が回答（回答率79.2%）

【浜田市議会】

全国の県・市区町村議会（1,416議会）のうち 37位
 全国の一般市議会（710議会）のうち 19位
 島根県内の県・市町村議会（20議会）のうち 1位
 ※中国・四国・九州地方の全議会のうち 1位

◆議会改革度調査（調査機関：早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会）						
年	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
総合順位	224	61	71	87	77	37
個別順位						
情報共有	155	97	39	80	39	27
住民参加	438	106	166	190	101	98
機能強化	226	123	110	103	140	42
個別得点						
情報共有	391	546	505	348	435	790
住民参加	259	690	635	175	325	480
機能強化	569	761	655	845	845	1410



【浜田市議会における特徴的な取組】

●情報共有

- ・ 会議の情報公開（全ての会議資料の事前公開、会議の録画配信）
- ・ 各議員の議案等に対する賛否及び反対理由の公開
- ・ 読みやすい議会だよりの作成、はまだ議会だより mini の作成による議会活動の周知

●住民参加

- ・ 議会の情報公開による市民参画（会議資料の公開、会議の録画配信）
- ・ 各種意見交換会の実施（地域協議会、関係団体等）
- ・ 議会報告会、地域井戸端会、はまだ市民一日議会の実施
- ・ 議長なんでもメール、ぎかいポスト等の広聴機能の充実
- ・ 小学生による議会傍聴
- ・ 主権者教育の取組
（県立大学生によるギカイと語ろう、SNS 講習会、インターンシップ）

●機能強化

- ・ 議会基本条例の見直し
- ・ 委員会代表質問の導入
- ・ 議会 BCP の策定
- ・ オンライン委員会の開催
- ・ 自由討議の実施
- ・ 定期的な議員研修会の実施

4. マニフェスト大賞2021 優秀躍進賞を受賞

マニフェスト大賞は、地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを募集し、優れた内容について表彰するもの。

優れた取り組みが広く知られ、互いに競いあうようにまちづくりを進める「善政競争」の輪が広がり、政策本位の政治、生活者起点の政策の推進に寄与することを目的としている。（毎年実施、2021 年は応募総数 2,730 件）

●**テーマ** 市民が議場で思いを述べる「はまだ市民一日議会」初開催

●**講評** 市民が議場における 5 分間のスピーチで、暮らしや市政に関する意見や要望を発言する「フリースピーチ」を実施した。新型コロナウイルス感染対策で議会報告会を中止したため、愛知県犬山市議会での実施例を参考に、市民の声を聞く場として設けた。さまざまな形で周知に努めた結果、募集定員の 10 人を上回る 17 人のスピーチが実現した。スピーチにおける発言について全員協議会で議論するなど、フィードバックも心がけている。

マニフェスト研究所の全国改革度ランキングも 2017 年の 224 位から 2020 年の 87 位まで上昇している。一連の議会改革への努力も含めて評価した。

◆政務活動費の使途基準等にかかる検討状況

浜田市特別職報酬等審議会における令和元年12月の答申内容（抜粋）

3 浜田市議会議員の政務活動費の額

(1) 増額が妥当である。ただし、支給要件の緩和を前提とし、緩和されるまでの間は、現行（年額100,000円）のとおり据え置きとする。

(2) 当面の間据え置きとする理由

政務活動費については、他団体との比較において低い状況にあり、議員活動の活性化に支障が生じているものと思慮する。ただし、**支給要件を緩和せずに、政務活動費の増額が執行率に直結するとは言い難い**との判断を踏まえ、**緩和するまでの間においては、現行の政務活動費の額を据え置くことが適当**であると判断したものである。

今後は、**透明性の確保を前提として、議会側による支給対象経費や使途基準等の見直しの検討結果を踏まえ、次回の当審議会開催時において増額について審議をお願いすることとする。**

【令和2年3月】監査委員の指摘を受け、より透明性の確保を重視し、厳格化

◆「浜田市議会政務活動費の交付に関する細則」の改正

- ①新聞購読料（専門誌のみ）を全額でなく、「該当経費の1/3以内」に改正
- ②宿泊料は、原則実費とし、浜田市職員等の旅費に関する条例の宿泊代の範囲内とし、超える部分は自己負担とすることに改正

【令和2年12月】公平性や透明性の重視から支給対象経費として除外

◆広報費の検討（支給対象経費の拡大）

広報紙の作成にかかる広報費の経費導入について、選挙・政党活動に関する内容や議員個人のPRにつながると認められる内容、写真等が掲載される場合、費用案分が必要であり、その判断が容易でなく、かつ不明瞭であることから、引き続き経費から除外することとし、今後必要に応じて検討

【令和2年12月】活用しやすいよう広聴費使途のマニュアル改良

◆広聴費の検討（活用の具体化）

広聴費については、現状でも経費として認めているが、使用実績が少ないため、議員が活用しやすいよう具体的な活用事例を盛り込んだマニュアルに改良

【令和5年 現在検討中】議会改革推進特別委員会で検討中

◆政務活動費の前払いの再検討

◆市内における調査時の自家用車移動に係るガソリン代の経費検討

◆広聴活動等における携帯電話代

◆会派への支給の検討